

木材輸出の促進について

木材産業振興課

- 【目的】**
- 製材品** : 木材の輸出拡大が期待できるアジア地域において、県内で加工した付加価値の高い県産製材品の輸出を促進する
 - CLT** : 国内需要の拡大とともに、普及拡大が見込まれる近隣諸国への輸出に積極的に取り組む

【背景】

- 豊富な森林資源の活用
- 韓国における人口増加(2030年ピーク、5,200万人)
- 台湾は木造建築への関心が高まっているので輸出の可能性が大きい など

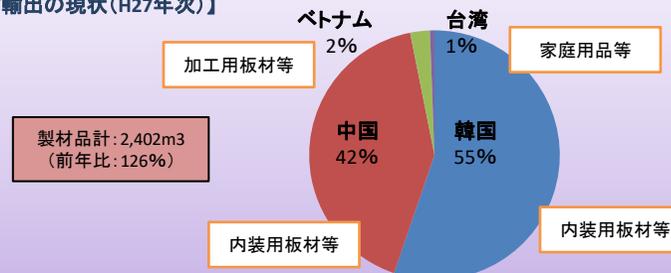
【これまでの取組】

- 韓国最大の木材見本市へ個別事業者が参加
- 韓国ビジネスセミナーの開催(JETRO高知・高知県木材協会 主催)
- 韓国の市場調査(H27補正、JETRO高知委託)

【今年度の実績】(平成28年12月末まで)

- 営業・商談 5回(韓国、フィリピン)、バイヤーの招へい 2回(韓国・台湾)
- 県内 12事業者、海外 57事業者(韓国、台湾、フィリピン)が商談を実施
- CLTについては、日本CLT協会による調査・シンポジウムの開催(台湾)へ県職員同行

【県産材輸出の現状(H27年次)】



【輸出の課題】

◆製材品

- ・製材品の新たな需要先の開拓
- ・現地のニーズにマッチした製品の生産(製品規格の違いによる採材方法のクリアなど)
- ・付加価値の高い製材品の輸出の促進、輸出に取り組む県内企業の育成 等

◆CLT

- ・CLTの新たな需要先の開拓
- ・台湾の詳細な法令等の把握
- ・CLTの輸送コスト 等

【台湾をCLTのターゲットにする理由】

- ・日本から近く、日本産製品への信頼がある
- ・公共建築を中心に環境配慮型建築への取組が進んでいる
- ・CLTの建築実績がある(4棟、オーストリア製)
- ・日本CLT協会が実施したCLT輸出可能性検討会に高知県も参加
- ・日本CLT協会が台湾でシンポジウムを開催するなど、輸出の土壌が整いつつある
- ・耐震基準がヨーロッパより厳しい日本製CLTが受け入れられる可能性がある



輸出に向けた取組



商談(マッチング)

輸出仕様製品の試作・出荷

海外木材見本市への出展

海外での施工物件によるPR

CLTの輸出可能性調査(台湾)

土佐材流通促進協議会



参加事業者数
40事業者
うち「輸出部会」
14事業者
(H28.12末現在)

“輸出部会”の設置(H28.4)
(体制強化)

製材品 (県産材輸出促進事業による支援)

- ・営業・商談の継続
- ・輸出仕様製品の試作(開発・加工)
- ・テスト(サンプル)出荷
- ・海外木材見本市(コリアビルド)への共同出展
- ・土佐材施工物件(店舗等)によるPR など

※韓国最大の木材関係見本市
(2016年度実績 出品者800社・団体
来場者19万人)



CLT (日本CLT協会に委託)

- ・市場の調査及び予測
- ・流通等の課題や輸送コストの分析
- ・現地の建築展に出展し、CLTの普及促進
- ・現地のモデル施設での活用の検討



メリット

- ・日本初のCLT輸出に取り組むことによる県産材使用のコネクションの構築
- ・CLT輸出に付随する一般製材品の販売量の拡大
- ・高知新港からの輸出コストの明確化
- ・ターゲット企業との協力関係の強化

県産製材品の販路拡大・CLTの需要拡大・新たな輸出企業の増加